

次期 あいち商店街活性化プラン（仮称）の策定について

1. 策定の目的

- 平成23年5月に、県内の商店街全体の活性化を目指し、身近な目標となる成功例(25商店街)の創出を目標とする「新 あいち商店街プラン」を策定した。
- 同プランに基づき、県内各地域から成功例となり得る「活性化モデル商店街」として34の商店街を指定し、げんき商店街推進事業費補助金により重点的な支援を行うなど、目標達成に向け、積極的な施策展開を行ってきた。
- 一方、商店街においては、経営者の高齢化・後継者難による活動の担い手不足が深刻化。衰退に歯止めがかからず、非常に厳しい状況となっている。
- そうした中、高齢化社会の進展に伴い、日常の身近な「買い物場」としての商店街は、その重要性がますます高まっており、加えて、子育て支援、防犯・防災活動など「地域コミュニティの担い手」として果たす役割についても、地域住民から強く期待されている。
- 同プランが平成27年度をもって計画期間を満了することから、これまでの成果を検証するとともに、平成26年3月にとりまとめた「商店街実態調査」の結果を踏まえ、中期的な観点から(計画期間は、平成28年度から平成32年度まで)新たな商店街振興施策のあり方を検討すべく策定委員会を設置し、次期プランに対する意見等を聴取し、パブリックコメントを経て、次期プランを策定する。
- こうした商店街振興施策の推進に当たっては、市町村が中核的な役割を担うなど、それぞれの主体に応じた役割が存在する。次期プランでは、改めてその役割を明確化し、再認識することにより、商店街の活性化をより効果的かつ効率的に実行する。

2. 今後のスケジュール(案)

- 8月6日 **第1回策定委員会**
 - ・ 施策体系案提示、方向性の決定、施策のアイデア出し
- 11月 **第2回策定委員会**
 - ・ あいち商店街活性化プラン(仮称)(素案)の提示
- 12月 策定委員の意見を踏まえ、パブリックコメント
- 1月 パブリックコメントの結果を踏まえ、策定委員へ商店街活性化プラン(仮称)最終案の個別説明
- 2月 **あいち商店街活性化プラン(仮称)の策定**
 - ・ 記者発表